



トラックドライバー日記

「安全・安心」に欠かせない取り組みを、サンライズ運送に勤めるスタッフたちそれぞれのエピソードを通じて紹介。

第15話 出荷された商品を、出荷された状態でお届けしよう



よくある、見間違い・思い違い

「たぶん合ってる」や「たぶん大丈夫」、
それは、たぶん「最大の思い込み」になっています。

- 「品番」には
数字・アルファベット
の記載
- 「行き先」には
地名や社名の漢字
の記載



マンガ制作:ad-manga.com

誤配送になれば、商品差し替えに要する時間が発生し、配送遅延が確定します。さらに、遅延時間を少しでも短縮しようとする焦りの心理から、遅れた時間をアフレコで取り戻そうとして、交通事故を誘発する可能性も高くなります。

時間がない時には「たぶん合ってる」や「たぶん大丈夫」と思い、確認を怠りやすくなる気持ちもわかります。しかし、その「たぶん」が「最大の思い込み」につながるのです。急いでいる時こそ確認を。差し替えなどで二度手間にならないように、確認のひと手間を。数字やアルファベット、漢字は見るだけでなく、指で差しながら声に出して読みましょう。誤配送を削減するだけでなく、交通事故の削減にもつながります。何より、ひとつの仕事を1回で終えることが、最大の配送効率化なのです。

指差しし、声出し確認で誤配送・交通事故を削減

誤配送も危険物運搬を除けば道路交通法の対象外です。しかし言うまでもなく誤配送をしてよいというわけではありません。その防止が信頼を重ねるのです。

品番や商品名には、数字やアルファベットが多く用いられているため、見間違いによる誤配送も多くなります。また、伝票に記載された地名やお客様名には漢字が多く、思い込みが誤配送につながります。ドライバーが心理的に焦り、商品や伝票の文字を確認せずに判断してしまい、誤配送につながらないように。よくある数字・アルファベット・漢字の見間違い・思い違いを防ぐ、KYTが必要かもしれませんね。

見間違い・思い違いが誤配送を誘発

万一のフルブレーキにも耐えうる積載方法を

養生道具をフル活用して、
無事(故)に到着できる積載を優先しましょう。



商品は2カ所以上で
固定しましょう

1カ所を100%の力で締める

↓
2カ所を各80%で締めれば、
160%の安心感!

万全な積載方法に加え運転時は、

常に危険物を積載しているつもりで
運転すれば、**防衛運転**に。
常に荷姿が良くない貨物を積載しているつもりで
運転すれば、**エコ運転**に。

皆さんが日々お客様の指定場所へと運んでいる商品。これが道路上に落下すれば道路交通法の違反対象になります。これが荷崩れ状態であれば、対象外です。しかし、対象外だから安心してください、と言っているわけではありません。お客様から預かった商品を破損しないで届ける方法を知っておくことはプロとして当然であり、それが運賃アップや仕事量の増加にもつながっていくでしょう。

商品を守りながら、自分も守る積載方法を選択

商品の固定は走り方・停まり方に影響します。荷崩れを防止するための固定はこの状態で急ブレーキにも耐えうるのかを合格基準にしましょう。方法としては、ラッシングやロープを使用する場合、2カ所以上で行います。その理由は、1カ所だけでは万一切れると荷崩れしてしまうこと、締め方が強くなりすぎて、商品への締め傷や反り状態による商品破損が想定されるからです。

万全な積載方法であれば、危険を回避する急ブレーキを躊躇なく踏むことができ、自身を交通事故から守ることもできます。持っている養生道具をフル活用して、フルブレーキにも耐えうる積載方法を選択しましょう。「荷降ろし時に楽な手順を選択するのではなく、「無事に到着する」積載方法を優先させるのです。」

万全な積載方法で、急いでいる時こそ確認を

商品破損や誤配送を防ぎ、
商品を出荷されたままの状態
納品できるように取り組もう！